



外国出張報告書

平成 26 年 10 月 8 日

1. 出張国名 ミャンマー、ベトナム
2. 出張月 平成 26 年 9 月～10 月
3. 出張目的 セミナー開催のための協議及びイエジン大学からの基礎的な情報収集：D
 ワークショップでの発表及び CDM 事業の検証：A

4. 成果の概要

4-1. ミャンマー

本年 11 月に予定されているミャンマー国農業灌漑省との共催セミナーの実施に向け、関係機関と協議を行った。ヤンゴンにおいては、日本国大使館と JICA 事務所を訪れ、セミナーの概要を説明し、必要な協力依頼を行った。ネーपीドーでは、農業灌漑省灌漑局 (ID)、農業研究局 (DAR) 及びイエジン農業大学 (YAU) を訪問し、セミナーの内容等に関する意見交換を行い、方向性を決定した。

また、あわせて中央乾燥地に属するマンダレー管区において、セミナー翌日の現地視察候補地の確認の意味も含め、気候変動の影響と農家の対応に関する現地調査を行った。

4-2. ベトナム

9 月 27 日 (土) に開催した 'JIRCAS-CTU Climate Change Project Workshop 2014' に参加し、第 3 セッションで、'Estimation of GHG emission reduction based on monitoring results on biogas use at households' と題して発表した。また、ワークショップの準備等、運営管理にも携わった。

9 月 30 日 (火) ～10 月 2 日 (木)、指定運営組織 (DOE: Designated Operational Entity) によるバイオガスダイジェスター (BD) による CDM 事業の第 1 回モニタリング結果に係る現地審査が行われた。

この現地審査に係る事前準備を行うとともに、書類審査、BD 農家調査、関係機関とのインタビュー等に同席し、審査結果の方向性につき議論した。

10 月 4 日 (土)、キーファーマーの研修を兼ねたワークショップを開催し、BD 設置状況、問題点、改善方法等につき意見交換を行った。